



3/2

第26回名寄ピヤシリ歩くスキー大会

今年で26回目を数える名寄ピヤシリ歩くスキー大会が、なよろ健康の森距離会場で行われ、幼児からお年寄りまで約460人が参加し、さわやかな汗を流しました。

市内をはじめ、他の市町村から参加した選手たちは、自分の体力に合わせてそれぞれ3km・5km・10km・15kmのコースを選択。藤原忠教育長の合図で一斉にスタートし、仲間との会話や景色を楽しみながら、ゴールを目指しました。



3/19

市立名寄短期大学名で最後の卒業式

第47回市立名寄短期大学卒業式が、名寄市立大学体育館で行われました。

式には、保護者や来賓の臨席のもとに、3年制短期大学最後となった看護学科46人、児童学科57人に卒業証書と学位記が久保田宏学長から手渡されました。

来賓各位から励ましの言葉を受け、卒業生全員からは「社会に役立つ職業人としての決意」がみなぎっていました。



名寄市立大学のシンボルマークを制定

名寄市立大学では、昨年11月から12月25日まで同大学のシンボルマークを募集しました。15人の方から22点の応募があり、最優秀作品賞は大見広規さん(西2条北7丁目)の作品に決定しました。そのほか、優秀作品2点を選びました。

この作品は、新名寄市の市章をモチーフに大学の英語略語「univ.」を加えたもので、4個の「人」は、大学を構成する4学科(栄養・看護・社会福祉・児童)を表し、上部の円弧は、保健・医療・福祉の連携および大学を取り巻く豊かな自然環境と豊かな市民を表現したものです。(作成者説明文から抜粋)

このシンボルマークは、今年4月から使用されていますが、同時に「市立名寄短期大学」から「名寄市立大学短期大学部」に名称変更することに併せて制定したものです。

